

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名 一般国道294号 稲沢拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 栃木県	
起終点 自：栃木県那須郡黒羽町寒井 至：栃木県那須郡那須町稲沢	延長	5.2 km	
事業概要 一般国道294号は、千葉県柏市を起点として、本県東部を縦断し、福島県白河市を經由し会津若松市に至る幹線道路である。また、八溝地域をはじめとする沿線地域の観光産業や、地域の人々の日常生活を支える重要な路線でもある。稲沢拡幅は、黒羽町寒井から那須町稲沢に至る5.2 kmの区間で、道路の幅員が狭くカーブがきつい箇所があること、歩道が未整備であること、現道の余笹川に架かる余笹橋が老朽化していることなどから、通過車両の円滑な交通や歩行者自転車等の安全確保を目的とし延長5.2 kmの2車線道路である。			
H2年度事業化	都市計画決定なし	H3年度用地着手	
全体事業費 48.0億円 事業進捗率 88% 供用済延長 4.0 km 計画交通量 5,100~9,900台/日			
費用対効果分析結果	総費用 (残事業)/(事業全体) 7/18 億円 (事業費: 5/16 億円) (維持管理費: 2/2 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 111/111 億円 (走行時間短縮便益: 93/93 億円) (走行費用減少便益: 15/15 億円) (交通事故減少便益: 3/3 億円)	基準年 平成16年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（JR那須塩原駅や福島空港等へのアクセスが向上する） ・物流効率化の支援（常陸那珂港へのアクセス向上及び農林業の流通の利便性が向上する） 他16項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 稲沢拡幅は、通過車両の円滑な交通、地域交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、黒羽町をはじめとする関係9市10町5村の首長で構成される国道294号建設期成同盟会より早期整備の要望（平成16年8月5日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 那須町側の約3 kmを平成11年4月に供用をし、さらに約1.0 kmを平成15年1月までに供用を図ったところである。残事業区間は屈曲した現道を迂回する1.2 kmのバイパスであり、橋梁・トンネルが含まれている。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 トンネル坑口部の、1名の地権者の協力が得られなかったことによる。今後、任意交渉を進めるとともに、収用の手続きも進め、平成17年度にトンネル工事に着手し、平成18年度に供用を図る。			
施設の構造や工法の変更等 ・トンネル掘削や他工区からの発生土を盛土材に使用しコスト縮減を図る。 ・那須黒羽橋上部工に耐候性鋼材を使用し維持管理費のコスト縮減を図る。			
対応方針 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。